

平成 30 年度
事業計画書

社会福祉法人 銚子市社会福祉事業団

目 次

I	法人の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・	1
II	組 織 図・・・・・・・・・・・・・・・・	2
III	評議員会及び理事会等の開催計画・・・・・・・・	3
IV	法人本部の事業計画・・・・・・・・	4
V	各施設の事業計画	
1	銚子市養護老人ホーム長崎園・・・・・・・・	5
2	特別養護老人ホーム松籟の丘及び個室ユニット型特別養護 老人ホーム松籟の丘・・・・・・・・	7
3	ショートステイ松籟の丘・・・・・・・・	9
4	ケアマネージメントハウス松籟の丘・・・・・・・・	9
5	銚子市海鹿島保育所・・・・・・・・	10

I 法人の基本方針

社会福祉法人制度の改革に基づく経営組織のガバナンスの強化、事業運営の透明性及び地域社会に貢献する取り組みが社会福祉法人に求められている。

当事業団としては、制度改革に則った評議員会及び理事会の体制整備の更なる充実、運営を図るとともにその決定に基づき、各種計画の策定・遂行、人事・財務等の管理事務の効率的かつ適切な処理に努める。

また、地域との連携を進めるとともに、必要な体制整備や情報収集に努め、次の各種事業の展開により、地域福祉の推進に努める。

1 第一種社会福祉事業

- (1) 銚子市養護老人ホーム長崎園の指定管理事業による管理運営
- (2) 特別養護老人ホーム松籟の丘及び個室ユニット型特別養護老人ホーム松籟の丘の経営

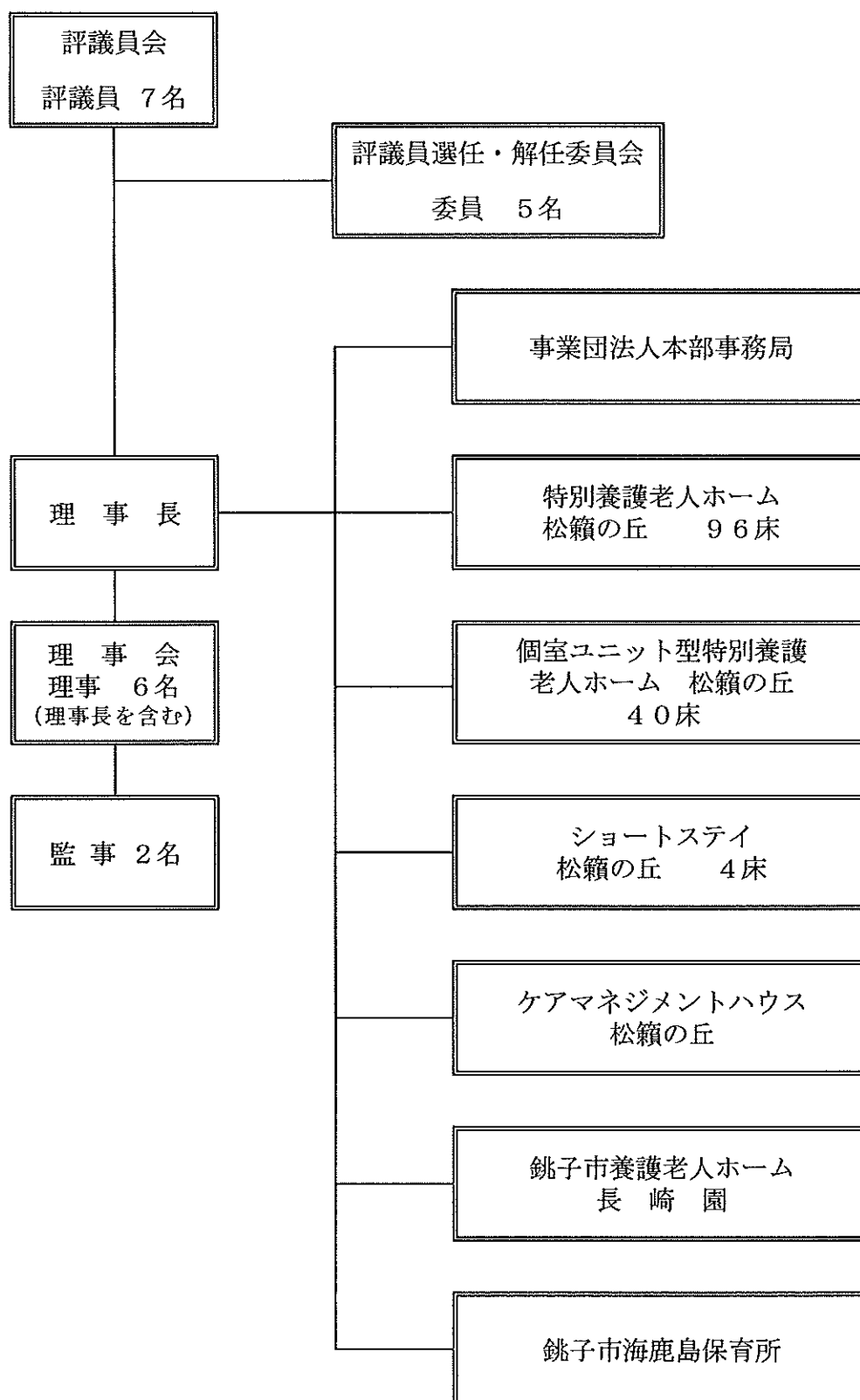
2 第二種社会福祉事業

- (1) 銚子市海鹿島保育所の指定管理事業による管理運営
- (2) 短期入所生活介護事業（ショートステイ松籟の丘等）の経営

3 公益事業

- (1) 居宅介護支援事業（ケアマネージメントハウス松籟の丘）の経営

II 社会福祉法人銚子市社会福祉事業団組織図



Ⅲ 評議員会及び理事会等の開催計画

評議員会	平成30年 6月	前年度事業報告 会計決算報告 その他
	平成31年 3月	次年度事業計画 会計予算関係 その他

理事会	平成30年 6月	前年度事業報告 会計決算報告 評議員会議案 その他
	平成30年 9月	理事長の職務の執行報告 会計予算関係 その他
	平成30年12月	理事長の職務の執行報告 その他
	平成31年3月	次年度事業計画 会計予算関係 評議員会議案 その他

監事監査	平成30年 5月	会計決算関係
------	----------	--------

IV 法人本部の事業計画

1 社会福祉法人制度改革に係る一層の対応を図る

法人としての業務全般、予算、決算及び事業計画等に関して、定時評議員のほか、随時理事会及び評議員会を開催・運営審議し、事業の活性化と健全な法人経営を図る。

2 中長期計画の策定

地域の福祉ニーズの変化を見据えた事業の展開、現事業の継続性と資産の維持管理、借入金の返済及び積立金を踏まえた中長期の計画を策定することにより、法人運営の安定と利用者サービスの向上を図る。

3 施設間の連携協力体制の強化、相乗的・効果的な事業展開に努める

指定管理事業として管理運営する2施設のうち銚子市養護老人ホーム長崎園については、指定管理最終年であり入所者数の減少と施設の老朽化により、管理運営に多くの課題がある。また、銚子市海鹿島保育所についても、同様に施設の老朽化が著しい中で、それぞれの施設間の連携と社会福祉法人に求められる地域公益事業として何が可能であるか、検討を進める。

4 職員の処遇改善に努める

定期健康診断、腰痛検査及びストレスチェック等の実施により職員の健康管理を図るとともに、職員の処遇向上に努める。

具体的には、初任給を含めた職員給料表の改定、事業運営に関わる多職種の資格、職務手当等の妥当性・整合性を考慮した職員給与規程の見直しを図る。

V 各施設の事業計画

1 銚子市養護老人ホーム長崎園

(1) 基本方針

施設サービスにおける基本的な理念である「自己決定」「残存能力の活用」「サービスの継続性」の3点から「利用者本位の自立支援のサービスの提供」を基本方針とする。また、利用者にとっての生活の場であることから、安心して自主的に日常生活を営めるように支援していく。

利用者が自立した日常生活を営み、社会的活動に参加するために必要な助言・その他援助を行う。

(2) 重点目標

① 利用者の支援の充実

自立支援を基本に、ケアプランを作成し、個別の身体面、健康面、栄養面等の支援、介護等を実施し、毎月利用者満足度の確認や見直し等を行い、施設での日常生活が継続できるようにする。

② 地域交流のための活動

ショッピング、会食等で地域に出向く機会を多数設け、また、地域住民参加型の夏祭り等の開催、地域学校行事等への参加やボランティア、慰問、実習生の受け入れ等を行い、地域との交流を図る。

③ 職員研修の実施

施設内研修を重視し、随時多様な内容での開催を実施する。外部研修の参加後は復命会等を行い、多職種連携を図り、利用者の様々なニーズに対応できるように努める。

④ 防災・事故防止等の体制の強化

防災管理者による防災教育、利用者とともに防災避難訓練等を実施する。また、施設内の生活環境を確認し、転倒等の施設内事故の防止等、利用者の安全確保に努める。

⑤ 生活環境・施設設備等の保全

経年による施設全体の老朽化が著しいため、修繕箇所等の予測は困難であり、随時補修及び改修等を行い、生活環境等の安全性が維持できるようにする。

(3) 年間計画

月	施設の行事	支援関係・その他
毎月 実施	座談会 (月1回) ショッピング・会食 (随時) ふれあい喫茶 (月1回)	血圧・体重測定 (月1回) 内科医回診 (週1回) 精神神経科医回診 (4週1回) 外科医往診 (隔週) 書道・陶芸クラブ (月2回) ストレッチ体操 (月1回) 理髪(隔月)・衛生指導(週1回)
4	花見 草餅大会	
5	端午の節句会 藤見	菖蒲湯
6	園児との交流会	歯科検診 防災避難訓練
7	七夕会	寝具殺菌乾燥
8	夏祭り	定期健康診断 盆供養(施餓鬼供養)
9	敬老祝賀会 園児との交流会	ワックス清掃 防災避難訓練(夜間想定)
10	運動会 月見会	
11	バイキング	こも浦荘文化祭出品・見学 インフルエンザ予防接種
12	クリスマス・忘年会	ゆず湯(冬至)
1	新年祝賀会・初詣 餅つき大会	緊急連絡伝達訓練
2	豆まき(節分)	
3	ひな祭り会	定期健康診断 防災避難訓練 ワックス清掃

2 特別養護老人ホーム松籟の丘及び個室ユニット型特別養護老人ホーム松籟の丘

(1) 基本方針

平成30年度の介護保険の改正では、2025年問題を目前に控え、地域包括ケアシステムの推進に向けた医療・介護の連携が強化される。

特別養護老人ホームは、医療ニーズへの対応と看取り介護の強化等、今後更に質の高いサービスの提供と職員のスキルアップが求められる。当施設も開設して5年半が過ぎ、施設運営は安定しつつあるが、利用者の多様化・重度化と共に対応はより厳しい状況になってきている。

「ここで暮らしてよかった そう思っていただけの支援を目指します」という基本理念に基づき、自律を目指した質の高い個別ケアの実現に向けて、次の重点目標を掲げ、取り組みを進めるものとする。

(2) 重点目標

① 看取り介護の充実

安心と安楽を念頭に置き、日常生活の延長線上にある看取り期をその人らしく生きる支援の充実を多職種協働で取り組むと共に、家族に寄り添い、サポートできる環境と体制の構築に努める。

② 人材育成の充実と人材の定着

職員研修の重要性を認識したうえで、施設内外の研修を積極的に活用し、職員全体で質の高いケアに向けた意識統一と自己研鑽に努め、質の高いケアを提供できる魅力ある施設として、人材確保と定着を図り、施設を担う次世代の人材育成を強化する。

③ 経営の安定化

利用者の健康状態を把握し、早期発見・早期対応により入院を抑え、空床発生時には臨機応変に速やかな対応を行い、稼働率の安定を図る。

具体的には、松籟の丘、ユニット型ともに98%、短期入所85%の稼働率を掲げ取り組む。

④ 地域福祉の拠点としての活動

様々な形態の実習の受け入れや地域の中で行われる介護職員初任者研修等の講師、ボランティア団体等に向けた介護教室や勉強会を積極的に開催し、福祉人材の育成に寄与し、福祉への興味と理解を深め、地域の福祉力を向上させていけるよう取り組む。また、施設を可能な限り開放し、施設が地域の中で活用される資源となれるよう

努める。

⑤ 防災体制の強化

防災体制を見直し、職員が判断力を身に付けられるように実際の災害を想定した避難訓練を年3回企画実施し、課題を把握した上で防災マニュアルの作成に努める。

(3) 年間計画

月	施設 の 行事	支援関係・その他
毎月 実施	書道、華道、絵画教室及び 民謡クラブ等 給食会議	内科医回診（週1回） 精神神経科医回診（月2回） 血糖検査、特定薬剤による血液検査
4	さくら祭り 家族会	
5	つつじ見物	防災避難訓練
6	歯科検診 喫茶店	寝具交換
7	夏祭り	定期健康診断（レントゲン撮影）
8	ビアガーデン 縁日	施餓鬼供養
9	敬老祝賀会	定期健康診断（採血） 夜間防災訓練
10	さんま祭り 福祉祭り	館内特別清掃
11	松籟の丘文化祭	インフルエンザ予防接種 寝具交換
12	寿司パーティー 焼きいも大会	
1	新年祝賀会	
2	節分	防災避難訓練
3	もちつき大会	

3 ショートステイ松籟の丘

利用者が穏やかに在宅での生活を継続できるように、利用者・家族のニーズを把握し、多職種と連携を密にし、ケアプランに沿った個別の対応を求める。また、心身の状態を観察し、変化等への早期対応と予測を含んだ見守りを行い、事故等の防止を図り、安心・安全に利用できるサービスを提供する。

4 ケアマネージメントハウス松籟の丘

地域包括ケアシステムの推進に向け、在宅要介護者の医療ニーズへの対応調整と、入退院時の医療機関との連携に積極的に取り組み、在宅での医療と介護の切れ目のないサービスの提供と暮らしの安定を目指し、質の高いケアマネージメントを実現する。また、地域包括、各サービス事業者と連携し、個々の充実した生活への支援から地域への生活支援へと広義の地域福祉を見据え、相談援助活動の強化に努める。

5 銚子市海鹿島保育所

(1) 基本方針

子どもの人権や主体性を尊重し、保護者や地域社会と力を合わせ、自信を持って自己を十分に発揮しながら伸び伸び生活し、将来を生き抜く逞しい心と体づくりを基本に「子どもの未来が広がる保育」を目指す。

(2) 重点目標

① 子どもの健康支援

情緒の安定した環境の下で、自ら考えた事を表現し友だちと活動に取り組むことで「頑張れる力とできる自信」を育てる。

個々の子どもの発育状態を把握し、健康状態を見守ることによって保育所全体の疾病の発生状況や感染症の早期発見に役立て、予防対策に努める。

② 事故防止及び安全対策

災害や事故の発生に備え、危険個所の点検や定期的な避難訓練の実施に加えて睡眠中、プール活動、食事中等の場面を想定した事故を防止するため、全職員の共通認識や体制を整備する。また、子どもの年齢の特性を理解した上で事故に繋がる問題を把握し安全対策に努める。

③ 食育の推進

健康な生活の基本であり、食の楽しさや大切さを伝え生涯にわたる食習慣や食に対する考え方の基礎を身につけさせる。また、食育の取り組みとして保護者、地域の人と共に野菜作りや収穫、調理実習を実施する。

④ 保育士の資質・専門性の向上

保育実践を通じて保育の課題を把握し、対応が適切に行われるよう研修の実施により、職員の共通認識を高める。また、外部研修で得た知識、技能を職員間で共有することで保育所全体の資質の向上に努める。

⑤ 地域の子育て支援及び地域社会との交流

子育て支援の拠点として所庭開放や体験保育、親子交流の場を設け、相談や情報交換を行い、地域高齢者との触れ合いにより「思いやりの心」を養う良い機会を設け、保育所が地域に様々な輪を広げることにより、地域社会の活性化を図る。

(3) 年間計画

月	施設 の 行事	支援関係・その他
毎月実施	英語であそぼう（月2回） 読み聞かせ（月1回） 誕生会（月1回）	所庭開放・体操（週1回） 身長・体重計測（月1回） 避難訓練（月1～2回） 交通安全指導（月1回） 保護者交流（月1回）
4	新入所児童入所式	
5	遠足（魚市場見学） さつま芋 野菜苗植	保育総会及び育児講座 児童健康診断 胸囲・頭囲計測
6	音楽指導 ジャがいもほり 老人との交流会	保育参観 一日保育士体験 なかよしサークル（保育体験）
7	七夕の集い プール開き プラネタリウム見学 野菜の収穫・クッキング	歯科健診 なかよしサークル （プール開放）
8	お楽しみパーティ 地域・親子クッキング	なかよしサークル （プール開放）
9	伝承遊び 音楽指導 さつま芋ほり	避難訓練保護者引き渡し
10	運動会 ハロウィンパーティ バス遠足 お芋でクッキン	老人ホーム運動会応援参加
11	焼き芋パーティ おにぎりディ	児童健康診断 保育参観 小学校学校見学
12	生活発表会 クリスマス会・バイキング	入所申請受付
1	伝承遊び 味噌汁パーティ 音楽指導 バイキング	地震・火災の映写会 マラソン
2	節分豆まき 味噌作り	マラソン
3	ひな祭りお別れ会 お別れ遠足 終了式	マラソン 入所説明会